

ネギ、ワケギ、アサツキ*¹(野菜類、鱗茎類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	ネ	ワ	ア	作用機 構分類 コード	人	使	使	使	疫	ベ	苗	葉	萎	黄	黒	白	灰	小	小	ポ	黒	黒	軟	オ		
	ギ	ケ	サ		畜	用	用	用	病	病	と	立	枯	凋	斑	斑	び	網	色	菌	菌	腐	穂	腐	シ	
	キ	ツ	キ		性	時	回	条	病	病	病	病	病	病	病	病	病	病	病	症	病	病	病	カ		
イオウFL	☆	☆	☆	M2		*l	-									◎										
スターナ水	☆			31		7	3																	◎		
トップジンM水㊟	☆			1		7	3					◎						◎	◎		◎					
	☆						*a	1					◎						◎			◎				
トップジンM粉DL ㊟	☆			1		7	3											◎								
ベンレート水㊿	☆						30	1											◎							
	☆						*a	1					◎						◎							
	☆					*i	1					◎														
ハチハチ乳	☆			39	劇	7	2			◎						◎										
アフエットFL	☆			7		*k	2										◎						◎			
						1	2				◎		◎	◎	◎		◎	◎								
カナメFL	☆			7	劇	1	4				◎			◎	◎	◎							◎			
ケンジャFL	☆			7		14	2																	◎		
パレード20FL	☆			7		*h	1	苗																◎		
						*a	1	*o																		◎
						1	3			◎		◎	◎	◎		◎	◎									
モンカットFL40	☆			7		*b	4										◎									
						30	4																			
モンカット粒	☆			7		*b	4										◎									
						*p	4																			
ミリオネアFL	☆			7	劇	1	4					◎		◎	◎	◎								◎		
アミスター20FL	☆		☆	11		3	4			◎		◎		◎	◎	◎										
						7	4			◎		◎	◎	◎												
ストロビーFL	☆		☆	11		7	3					◎		◎	◎											
						21	2											◎								
ファンタジスタ顆水	☆			11		7	3				◎		◎	◎				◎	◎							
メジャーFL	☆			11		1	3			◎		◎		◎	◎	◎		◎	◎					◎		
ユニフォーム粒	☆			11・4		*m	1			◎						◎	◎							◎		
ランマンFL	☆	☆		21		3	4				◎															
						3	3								◎											
フロンサイド粉	☆			29		*c	2									◎		◎								
フルピカFL	☆			9		7	4											◎								

ネギ・ワケギ・アサツキ

ネギ、ワケギ、アサツキ*1 (野菜類、鱗茎類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	ネ	ワ	ア	作用機 構分類 コード	人	使	使	使	疫	べ	苗	薬	萎	黄	黒	白	灰	小	小	ポ	黒	黒	軟	オ			
	ギ	ケ	サ		畜	用	用	用	病	病	と	立	枯	凋	斑	斑	び	網	色	菌	菌	ト	腐	穂	シ		
	キ	キ	キ	性	毒	時	回	条	件	病	病	病	病	病	病	病	病	病	病	核	核	ス	核	病	カ		
						(日	数)																				
セイビアーFL20	☆			12		1	3										◎		◎			◎					
		☆					3	3												◎							
スマレックス水	☆			2		21	3											◎			◎						
ロブラール水	☆			2		14	3								◎		◎		◎		◎						
		☆	☆													◎				◎		◎					
リゾレックス水	☆			14		*e	3										◎										
リゾレックス粉	☆			14		*f	3										◎										
オンリーワンFL	☆	☆	☆	3		14	3								◎	◎											
サブロール乳	☆			3		1	5										◎										
トリフミン水	☆			3		*a	1					◎															
	☆						*n	1	苗				◎														
モンガリット粒	☆			3		*e	3										◎										
						*k	3													◎							
						*e	3																◎				
						*j	1	土																		◎	
ラリー水	☆	☆	☆	3		7	3									◎											
								14	3									◎									
ラリー乳	☆			3		14	3									◎											
セーフガード乳	☆			3		1	5									◎											
ポリオキシンAL水	☆			19		14	3								◎												
フェスティバル水	☆			40		14	3			◎																	
レーバスFL	☆			40		7	2			◎																	
オリゼメート粒	☆			P2		*b	2																	◎			
		☆					*g	1																	◎		
			☆				*b	1																	◎		
アリエッティ水	☆	☆		P7		3	3		◎	◎																	
バリダシン液5	☆			U18		*j	1				®																
							2										◎									◎	
ヨネボン水	☆	☆	☆	M1		7	4			◎				◎	◎									◎			
ジマンダイセン水	☆			M3		14	3			◎				◎	◎												
ペンコゼブFL	☆			M3		14	3			◎				◎	◎												
ダコニール1000FL	☆			M5		14	3			◎		◎		◎	◎					◎							
		☆					2			◎		◎		◎	◎					◎							
	☆	☆					*d	1				®															

ネギ・ワケギ・アサツキ

ネギ、ワケギ、アサツキ*1 (野菜類、鱗茎類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	ネ	ワ	ア	作用機 構分類 コード	人	使	使	使	疫	ベ	苗	薬	萎	黄	黒	さ	白	灰	小	小	ポ	黒	黒	軟	
	ギ	ケ	サ		畜	用	用	用	病	病	と	立	枯	凋	斑	斑	び	絹	色	菌	菌	ト	腐	腐	オ
	キ	ツ	キ		毒	時	回	条	病	病	枯	病	病	病	病	病	病	病	病	核	核	チ	穂	病	シ
					性	期	数		件	病	病	病	病	病	病	病	病	病	敗	腐	ス	核	病	ロ	
						(日															葉	病	カ	カ	
						数)															枯	病	ラ	サ	
																					症	タ	タ	ケ	
ベルコート水	☆			M7		30	3				◎				◎	◎									
ユニフォーム粒	☆			4・11		*m	1			◎						◎	◎					◎			
リドミルゴールドMZ顆水	☆			4・M3		14	3			◎															
フォリオゴールドFL	☆			4・M5		14	3			◎															
		☆					14	2			◎														
カセット水	☆			31・24		14	2																	◎	
ナレート水	☆			31・M1		14	3			◎														◎	
シグナムWDG	☆			7・11		7	3			◎				◎	◎										
ベジセイバーFL	☆			7・M5		14	2			◎	◎			◎	◎	◎			◎						
アミスターオープンFL	☆			11・M5		14	3			◎	◎	◎	◎	◎	◎				◎						
ダイナモ顆水	☆			21・27		3	4			◎															
ドーシャスFL	☆			21・M5		14	3			◎				◎											
ザンブロDMFL	☆			45・40		14	3			◎															
カスミンボルドー水	☆			24・M1		14	2																	◎	
テーク水	☆			3・M3		14	3			◎	◎			◎	◎										
ダイアメリットDF	☆			19・M7		30	3							◎	◎										
ベトファイター顆水	☆			40・27		14	3			◎															
カンパネラ水	☆			40・M3		14	3			◎				◎											
ベネセット水																									
カーニバル水	☆			40・M5		14	3			◎				◎	◎										
プロポーズ顆水	☆			40・M5		14	3			◎	◎														

⑦:ファファネットMFL含有剤 ◎:ベノル含有剤 ⊕:を使用した場合には同じ作での◎は使用しないこと。その逆も同様 (種子への処理および塗布処理を除く、詳細はP. 856参照)。*1:ネギ、ワケギ、アサツキは使用できる農薬が異なる。☆印で区別した。

- *a:定植直前 *b:土寄せ時(但し収穫30日前まで) *c:土寄せ時(但し収穫21日前まで)
- *d:出芽揃い後(出芽3日後~10日後まで) *e:土寄せ時(但し収穫14日前まで)
- *f:土寄せ前(但し収穫14日前まで) *g:生育期(但し収穫35日前まで) *h:育苗期後半~定植当日
- *i:植付前 *j:は種時 *k:生育期(但し収穫14日前まで) *L:発病前~発病初期
- *m:土寄せ時(但し収穫45日前まで) *n:定植前 *o:5~10分間育苗根部浸漬 *p:は種前
- Ⓜ:リゾクトニア菌による病害
- 苗:セル成型育苗トレイまたはペーパーポットで育苗している苗に灌注処理する。なお、この使用法は、土耕栽培による苗には使用できない。
- 土:土壌表面散布

ネギ・ワケギ・アサツキ

ネギ、ワケギ、アサツキ*1 (野菜類、鱗茎類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	ネ	ワ	ア	作用 機 構 分 類 コ ー ド	人 畜 毒 性	使 用 時 期 (日 数)	使 用 回 数	使 用 条 件	ア ブ ラ ミ ウ マ シ 類	ア ザ ミ ウ マ シ 類	ハ モ グ リ バ エ 類	タ マ ネ ギ バ エ 類	シ ロ イ チ モ ジ ヨ ト ウ 類	ネ ギ コ ガ 類	ネ キ リ ム シ 類	コ ガ ネ ム シ 類 幼 虫	ネ ダ ニ 類	そ の 他 害 虫		
スピノエース顆水	☆	☆	☆	5		3	3		◎				◎							
スラゴ	*2	*2	*2	UN		*L	-											ナ		
カルホス粉	☆	☆	☆	1B		*d	2								◎					
カルホス微粒F	☆			1B	劇	*f	1								◎					
	☆					*a	1								◎					
	☆	☆	☆			*d	2								◎					
サイアノックス乳	☆			1B		21	2		◎											
ショットガン乳	☆	☆		1B	劇	21	2		ギ											
			☆			30	2			ギ										
ダイアジノン乳40	☆	☆		1B	劇	21	2		◎◎	ネ		◎		◎						
ダイアジノン粒5	☆	☆	☆	1B		*d	2		◎◎	ネ		◎		◎				◎		
ダイアジノン粒10	☆	☆	☆	1B	劇	*f	1				◎									
トクチオン乳	☆			1B		7	3		◎	ネ			◎◎					◎		
ネキリエースK粒	☆			1B		30	2								◎					
マラソン乳	☆			1B		7	6		◎◎	ハ										
アグロスリン乳	☆			3A	劇	7	5		◎◎	ネ			◎◎							
		☆				3	2			◎◎	ネ			◎◎						
アディオソ乳	☆			3A		7	3		◎				◎◎							
	☆					灌								◎						
テルスター水	☆			3A		7	2					◎								
トレボン乳	☆			3A		21	2					◎								
フォース粒	☆			3A	劇	*a	1								◎			◎		
	☆					30	1												◎	
アクタラ顆溶	☆	☆		4A		3	3		ギ	ネ										
アクタラ粒5	☆	☆	☆	4A		*a	1		ギ	ネ										
	☆					*f				ギ										
	☆																			
アドマイヤーFL	☆			4A	劇	*g	1	苗	◎	ネ								ク		
	☆					14	2			◎										
		☆	☆			3	2				◎									
アドマイヤー1粒	☆	☆	☆	4A		*a	1		◎											
	☆	☆				3	2				◎									
	☆	☆									◎				◎◎					
	☆										◎	◎			◎◎					
アルバリン顆溶 スタークル顆溶	☆	☆		4A			3	2		◎										
	☆					*g	1			◎◎◎			◎◎							
	☆					*j	1			苗	◎◎									ト
		☆					*j	1			灌	◎◎								

ネギ・ワケギ・アサツキ

ネギ、ワケギ、アサツキ*1 (野菜類、鱗茎類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	ネ	ワ	ア	作用機 構分類 コード	人 畜 毒 性	使 用 時 期 (日 数)	使 用 回 数	使 用 条 件	ア ブ ラ ミ ウ シ 類	ア ザ ミ ウ マ 類	ハ モ グ リ バ エ 類	タ ネ バ エ 類	シ ロ イ チ モ ジ ヨ ト ウ 類	ネ ギ コ ガ 類	ネ キ リ ム シ 類	ネ ダ ニ 類	そ の 他 害 虫
マッチ乳	☆	☆		15		7 21	3 3						◎				
アブロードFL	☆		*3	16		*t 14	1	灌									◎
ファルコンFL	☆			18		1	2						◎				
マトリックFL	☆	☆	☆	18		7	3						◎				
ロムダンFL	☆			18		7	3						◎				
ハチハチ乳	☆			21A	劇	7	2		◎	◎	ネ		◎	◎			ク
トルネードエースDF	☆			22A		14	2						◎				
ファイントリムDF	☆			22A		14	2						◎				
フェニックス顆水	☆			28		7	3						◎	◎			
ブリロッソ粒オメガ	☆			28		1	3		◎	◎			◎	◎			
プレバソンFL 5	☆			28		*Q 3	1 3	苗		◎			◎	◎			
ベネビアOD	☆			28		1	3		◎	◎			◎	◎			
ベリマークSC	☆	☆		28		*Q 7	1 1	苗 灌	◎	◎	◎	◎	◎		◎		
ヨーバルFL	☆			28		*Q *r	1 1	苗 苗	◎	◎			◎				
アクセルFL	☆			22B		1	2						◎				
アクセルベイト	☆			22B		1	2								◎		
ウララDF	☆			29		1	3		ギ								
グレーシア乳	☆			30		7 21 *t	2 1 1		◎	◎			◎	◎			ク
プロフレアSC	☆			30		1	3						◎	◎			
ファインセーブFL	☆			34	劇	3	2		◎	ネ							
プレオFL	☆	☆	☆	UN		1	2		◎	ネ							
キックオフ顆水	☆			4A・28		*g	1	苗	◎	◎			◎				ク
ジュリボFL	☆			4A・28		*Q *k *a	1 1 3	苗	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		◎
ミネクトデュオ粒	☆			4A・28		*k *a	1 3		◎	◎	◎	◎	◎	◎			
アフームエクセラ顆水	☆			6・15		7	3		ギ	ネ			◎				

ネギ・ワケギ・アサツキ

- *1: ネギ、ワケギ、アサツキは使用できる農薬が異なる。☆印で区別した。
- *2: 「ナメクジ類、カタツムリ類、アフリカマイマイ、ヒメリンゴマイマイが加害する農作物等」での登録。
- *3: 伏せ込み栽培
- *a: 定植時
- *b: 発生初期(但し収穫前日まで)
- *c: 生育期(但し収穫21日前まで)
- *d: 播種時又は定植時
- *e: 土寄せ前 (但し収穫30日前まで)
- *f: 播種時
- *g: 定植前日～定植時
- *h: 幼虫発生期
- *j: 生育期(但し収穫14日前まで)
- *k: 育苗期後半
- *l: 発生時
- *m: 定植前日～定植当日
- *p: 生育期 (但し収穫3日前まで)
- *q: 育苗期後半～定植当日
- *r: 定植当日
- *s: 定植前
- *t: 植付時

ギ:ネギアザミウマ

ク:クロバネキノコバエ類

コ:ネコブセンチュウ

ト:トビイロヒョウタンゾウムシ及びクロバネキノコバエ類

ナ:ナメクジ類及びカタツムリ類

ネ:ネギハモグリバエ

ハ:ネギハモグリバエ (但し一部の商品はハモグリバエで登録あり)

ヒ:ヒョウタンゾウムシ類

灌:生育期に株元灌注する

苗:セル成型育苗トレイ又はペーパーポットで育苗している苗に灌注処理する。なお、この使用方法は土耕栽培による苗には使用できない。

△:セル成型育苗トレイ又はペーパーポットの上から散布する。

浸:苗浸漬

ネギ、ワケギ、アサツキ^{*1} (野菜類の登録農薬も使用できる)

主要病害虫発生消長		1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
病 害	春まき	—												
	さび病				—									
	黒斑病													
	秋まき													
虫 害	アブラムシ類													
	ネギハモグリバエ													
	ネギアザミウマ													

作 型 — ; 栽培期 — ; 収穫期
 病害虫発生消長 — ; 発生期 — ; 発生盛期

ネギ・ワケギ・アサツキ

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
べと病	生育期	1. 雨よけ栽培を行う。 2. 発生初期から次の薬剤のいずれかを散布する。 アミスター20フロアブル ● 2000倍 アリエッティ水和剤★ 800倍 ジマンダイセン水和剤☆ 600倍 ダコニール1000 (FL) ★ 1000倍 リドミルゴールド MZ (顆水) ☆ ● 1000倍 3. 全身感染している株は、早期に抜きとって処分する。	秋及び春の2回発生するが、特に4～5月に降雨日が多いと発生しやすい。 ネギのほかタマネギ、ワケギ、ノビルなどに発生するが、ラッキョウ、ニラ、アサツキなどにはほとんど発生しない。
	収穫後	・ 枯死葉などの伝染源を畑に残さない。	● 耐性菌を生じやすいので連用しない。
黒斑病	生育期	1. 肥料切れすると発生しやすいので、肥培管理に注意する。 2. 発病を認めたら初期に次の薬剤のいずれかを散布する。 アミスター20フロアブル 2000倍 ストロビーフロアブル☆ 2000倍 ダコニール1000 (FL) ★ 1000倍 ポリオキシシンAL水和剤☆ 1000倍 ロブラール水和剤 1000～1500倍	5～11月かけて発生するが、特に梅雨期および秋季に高温で降雨の多い年に多発する。
	収穫後	・ 枯死葉などの伝染源を畑に残さない。	

*1:ネギ、ワケギ、アサツキは使用できる農薬が異なる。

無印:ネギ、ワケギ、アサツキいずれにも登録あり

★:ネギとワケギに登録あり

☆:ネギのみに登録あり

注意…ネギ、ワケギ、アサツキに共通して登録がある農薬でも、作物ごとに使用時期などが異なる場合があるので、各作物における使用基準をよく確認する。

ネギ、ワケギ、アサツキ*1(野菜類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
さび病	定植前	1. 肥料切れをしないよう肥培管理に注意する。 2. 雨よけ栽培を行う。	ネギのほかタマネギ、ニンニク、ニラ、ラッキョウ、アサツキなどに発生する。5~6月と9~10月に降雨が多いと発生しやすい。薬剤散布の際は展着剤を加用する。 #1 Q o I 剤に深達性展着剤を使用すると薬害を生じる場合がある(展着剤の項参照)。 ● DMI 剤は耐性菌を生じる恐れがあるので連用しない。 #2 ネギとワケギ、アサツキで使用日数が異なるので注意する。
	定植後	・発生を認めたら初期に次の薬剤のいずれかを散布する。 アミスター20フロアブル#1、#2 2000倍 ストロビーフロアブル☆#1 2000倍 テーク水和剤☆● 600倍 オンリーワンフロアブル● 1000倍 ラリー水和剤●#2 2000倍	
黒腐菌核病	播種前	・強酸性の畑は消石灰を10a当り120kg施用する。	ネギのほかタマネギ、ニンニク、ラッキョウ、ニラなどに発生する。11~12月および3~4月頃に発生する。
	定植時 生育期	・発病床の苗は定植しない。 ・発病株は早期に処分する。	
小菌核腐敗病	定植時	・定植直前に次の薬剤のいずれかに30分間根部浸漬をする。 トップジンM水和剤☆#1 200倍 ベンレート水和剤☆#2 500倍	低温、多湿時に発病が助長される。 #1 チェーンポットで育苗している場合は、1冊(30×60cm、使用土壌約5L)あたり250倍液を0.5~1L苗床灌注する。 #2 セル成型育苗トレイ又はペーパーポットで育苗している場合は、1箱又は1冊(30×60cm、使用土壌約5L)あたり500mL灌注する。
	生育期	1. 発生を認めたら初期に次の薬剤のいずれかを散布する。 フルビカフロアブル☆ 2000倍 ベンレート水和剤☆ 1000~2000倍 ポリバリン水和剤☆ 1500倍 ロブラール水和剤 1000~1500倍 2. 発病株は早期に処分する。	
ボトリチス葉枯症	生育期	・発生を認めたら次の薬剤を散布する。 ロブラール水和剤● 1000~1500倍	●耐性菌を生じやすいので連用しない。

*1:ネギ、ワケギ、アサツキは使用できる農薬が異なる。

無印:ネギ、ワケギ、アサツキいずれにも登録あり

★:ネギとワケギに登録あり

☆:ネギのみに登録あり

注意…ネギ、ワケギ、アサツキに共通して登録がある農薬でも、作物ごとに使用時期などが異なる場合があるので、各作物における使用基準をよく確認する。

ネギ、ワケギ、アサツキ^{*1}(野菜類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
萎縮病	播種前	・ネギ畑の近くに苗床を設けない。	ネギのほかタマネギ、ニラ、ラッキョウ、スイセンなどに発生し、アブラムシ類によって媒介される。 石倉ネギ、晩ネギなどは耐病性が高い。
	苗床期～生育期	1. 苗床中の被害株は見つけ次第すみやかに抜きとる。 2. 無病苗を選別し定植する。 3. アブラムシ類の項を参考に防除する。	
アブラムシ類	苗床期	1. 寒冷紗による被覆育苗を行う(春まきネギでは発芽揃～6月上旬、秋まきネギでは発芽揃～12月中旬)。 2. シルバーテープを設置し、アブラムシ有翅虫の飛来を防ぐ。 3. 苗床に次の薬剤のいずれかを散布する。 ダイアジノン乳剤40 1000倍 マラソン乳剤☆ 1000～3000倍	4～6月および9～11月に高温乾燥が続くとアブラムシ類が多くなり、多発する。
	生育期	1. シルバーテープを設置し、アブラムシ有翅虫の飛来を防ぐ。 2. 次の薬剤のいずれかを散布する。 アグロスリン乳剤★ 2000倍 ダイアジノン乳剤40 1000倍 マラソン乳剤☆ 1000～3000倍	
ネギアザミウマ	定植時	1. 施設では近紫外線除去フィルムを展張し、開口部には目合い0.6mm以下の防虫ネットを張る。 2. 次の薬剤のいずれかを植溝に施用し、土壌混和する。 ベストガード粒剤☆ 6kg/10a モスピラン粒剤 6kg/10a	夏期が高温乾燥の時に多発する。(問題になっている病害虫の生態と防除-ネギアザミウマの項参照)
	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アグロスリン乳剤★# 2000倍 アディオン乳剤☆# 2000～3000倍 アルバリン顆粒水溶剤★# 2000倍 スタークル顆粒水溶剤★# 2000倍 スピノエース顆粒水和剤# 2500～5000倍 ダイアジノン乳剤40# 700～1200倍 ダントツ水溶剤 2000～4000倍 ディアナSC☆# 2500～5000倍 モスピラン顆粒水溶剤# 2000倍	

*1:ネギ、ワケギ、アサツキは使用できる農薬が異なる。

無印:ネギ、ワケギ、アサツキいずれにも登録あり

★:ネギとワケギに登録あり

☆:ネギのみに登録あり

注意…ネギ、ワケギ、アサツキに共通して登録がある農薬でも、作物ごとに使用時期などが異なる場合があるので、各作物における使用基準をよく確認する。

ネギ、ワケギ、アサツキ*1(野菜類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
ネギハモグリバエ	播種または定植時 生育期	<p>・次の薬剤を施用する。 モスピラン粒剤#1 6kg/10a</p> <p>1. 施設では近紫外線除去フィルムを展張し、開口部には目合い0.6mm以下の防虫ネットを張る。</p> <p>2. 次の薬剤のいずれかを散布する。 アファーム乳剤☆#2 1000倍 アルバリン粒剤☆#2 (株元散布) 6~9kg/10a スタークル粒剤☆#2 (株元散布) 6~9kg/10a ダイアジノン乳剤40 1000~2000倍 ダントツ水溶剤 2000~4000倍 ディアナS C ☆ 2500~5000倍 プレバゾンフロアブル5☆#2 2000倍</p>	<p>#1モスピラン粒剤は、播種時は播溝、植付時には植溝に施用し土壌混和する。</p> <p>#2ハモグリバエ類での登録</p>
シロイチモジヨトウ	生育期	<p>・8月下旬頃から発生に注意し、幼虫の若齢期に次の薬剤のいずれかを散布する。 アグロスリン乳剤★ 1000倍 アファーム乳剤 1000~2000倍 カスケード乳剤☆ 4000倍 トレボン乳剤☆ 1000倍 ノーモルト乳剤☆ 2000倍 フェニックス顆粒水和剤☆ 2000~4000倍 プレバゾンフロアブル5☆ 2000倍 フローバックDF#3 1000倍</p>	#3野菜類での登録
ハスモンヨトウ	成虫発生初期~発生終期	<p>・フェロディンSLを、トラップに1ha当たり2~4個取り付けて設置する。</p>	
ネギコガ	生育期	<p>・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アグロスリン乳剤★ 2000倍 アニキ乳剤☆ 1000~2000倍 ダイアジノン乳剤40 1000倍 プレバゾンフロアブル5☆ 2000倍</p>	
ネキリムシ類	播種または植付時	<p>・次の薬剤を土壌表面散布または土壌混和処理する。 カルホス粉剤 6kg/10a</p>	
その他の病害虫		白色疫病	

*1:ネギ、ワケギ、アサツキは使用できる農薬が異なる。

無印:ネギ、ワケギ、アサツキいずれにも登録あり

★:ネギとワケギに登録あり

☆:ネギのみに登録あり

注意…ネギ、ワケギ、アサツキに共通して登録がある農薬でも、作物ごとに使用時期などが異なる場合があるので、各作物における使用基準をよく確認する。